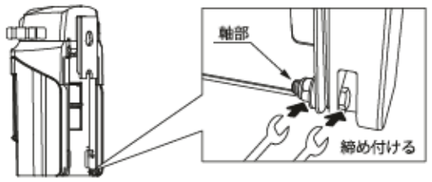
保守・点検

⚠警告 安全および性能を維持するために、保守点検は必ず行ってください。怠りますと重大な事故につながることがあります。

保守点検チェックシート

	項　目	確 認 内 容
1	キャニスターボトル	亀裂、損傷、劣化や汚れがないか確認する。
2	ボトルパッキン	傷や変形が無いか、キャニスタボトルに正しく取り付けられているか確認する。
3	アダプターホース	アダプターに変形やピン外れがないか、アウトレットとの着脱がスムーズか確認する。ホースに汚れや変色、詰まりがないか確認する。
4	外観	各部に割れや損傷がないか、清潔性は良いか確認する。
5	操作性	操作性は良いか、各部に緩みやガタツキはないか確認する。 キャニスタの開閉がゆるくなった場合、裏面の軸部を締め付け、調整してください。



各部の名称は２ページを参照してください。日常点検は一日一回始業時に、定期点検は６ヶ月に一度を目安に行なってください。異常が確認できた場合には、最寄の販売店まで修理をご依頼ください。

定期点検

①製造後長時間ご使用になりますと、ゴム製品、樹脂製品等に劣化が起こります。少なくとも1年に1回以上、定期点検を行ってください。
②定期点検は、お買い求めの販売店または当社にてご依頼されることをお勧めします。

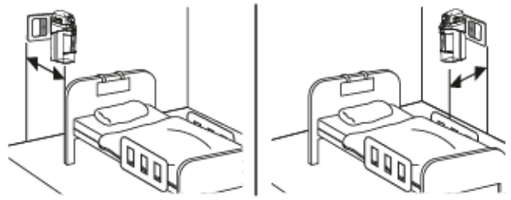
⚠警告
- ●不完全な修理、調整は危険です。部品交換、調整が必要な場合には、器種名をご確認のうえお買い求めの販売店、または当社にご依頼ください。
- ●定期点検を販売店または当社に依頼される場合は、当製品を必ず滅菌および消毒後に発送してください。病原菌による感染、または汚染等非常に危険です。

使用上の注意

キャニスタを落下させないように注意して使用してください。
本器を落下させ、本器の破損による感染または、けがの原因になる場合があります。以下の注意を守りご使用ください。

①キャニスタとコントローラーのセットは確実に！
「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
②使用中、ベイシェントホースを引っ張らないこと！
ベイシェントホースを引っ張ると、コントローラーとキャニスタが分離し、落下することがあります。
③吸引器の壁掛け（アウトレット）位置は適切に！
吸引器の壁掛け位置はベッドの位置や患者の安全性を考慮してください。近すぎると患者やその家族などが不用意に吸引器に接触し、落下させる場合があります。

吸引器の真下には処置台やベッドを設置しないでください。
距離をとって設置してください。



④本器は適切な教育を受けた方のみ使用し、患者やその家族などが不用意に吸引器に触れぬよう注意喚起してください。
⑤使用しないときはコントローラーの圧力目盛をOFFにしてから、アウトレットから吸引器を外してください。

構成品リスト

部　品　名　称		商品コード
コントローラ(組)ピンクグレープ		366101
コントローラ(組)ライム		366102
コントローラ(組)オレンジ		366103
コントローラ(組)ミント		366104
ホースハンガー		366201
調整ハンドルカバー		366205
ホース差し(Oリング付)		366203
キャニスタ		366125
キャニスタパッキン		366204
キャニスタホルダー(ピンクグレープ)		366151
キャニスタホルダー(ライム)		366152
キャニスタホルダー(オレンジ)		366153
キャニスタホルダー(ミント)		366154
シールA		322003
アダプターホース(50cm)		322008
アダプター	MS(ピンインデックス)	340004
	アムコ(シュレーダ)	340013
SWベイシェントホース(1.8M)(50本入)未滅菌		365091
VACプロテクターO		338037

※当製品（消耗品を除く）の保証期間はお買い上げいただいた日から１年間です。

仕　様

一般的名称	真空吸引器
販売名	ヨックスディスポミカン S801
届出番号	10B2X00014C00015
吸引圧力調整範囲	0kPa ～ −60kPa
入口吸引圧力	−60kPa ～ −80kPa
圧力指示目盛の精度	最大目盛の±10%（±6kPa）
排液貯留容積	1000mL(ライナー)
アウトレット接続アダプター	ピンインデックス式(シュレーダー式)
重量	約2kg

●一般医療機器　●特定保守管理医療機器

一般的名称	吸引器用キャニスタ
販売名	ヨックスディスポミカン用ライナー
届出番号	10B2X00014A00009
販売名	ヨックスディスポミカン用ライナー　O
届出番号	13B1X00009000106
容量	1000mL

●一般医療機器　●再使用禁止

KOIKE MEDICAL
発売元：**株式会社 小池メディカル**
本社　〒132-0031　東京都江戸川区松島 1-24-8
TEL：03-5662-6605（代）http//： www.koike-medical.co.jp/

GUNMA KOIKE
製造販売元
株式会社 群馬コイケ
〒372-0855 群馬県伊勢崎市長沼町222-1

2023年5月（第5版）

yex S-801 DISPO mikan　壁掛式ディスポーザブル吸引器　届出番号 10B2X00014C00015

ヨックスディスポミカン／取扱説明書

患者観察

このたびは、壁掛式ディスポーザブル吸引器「ヨックスディスポミカン」をお買い求め頂きまして厚くお礼申し上げます。
当製品をご使用いただく前に、必ず本書を読み、取り付けおよび操作の方法のほか、点検・整備など十分理解された上で、ご使用くださりますようお願い致します。

安全上の注意／安全の表示

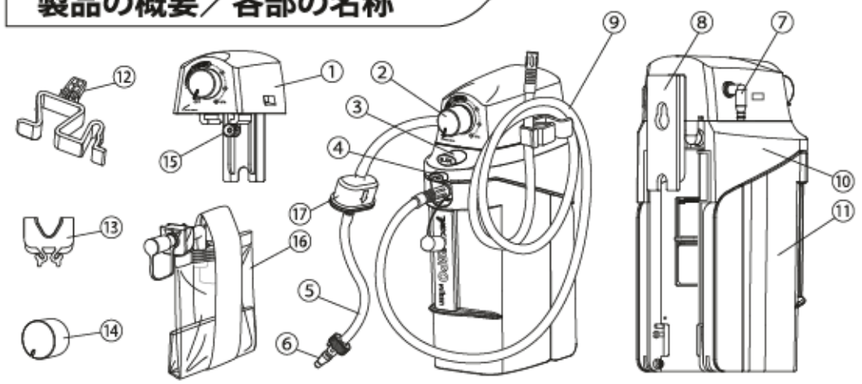
⚠警告	取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性がある危険状態になる場合があります。
⚠注意	取扱いを誤った場合、軽傷または中程度の傷害を負う可能性がある危険状態になる場合、および物的損害のみの発生が想定される場合の注意事項に用いております。

使用上の注意（安全にお使いいただくために）

⚠警告

1. 当製品の使用は適切な教育、指導を受けた者のみがお取扱いください。
2. 当製品を使用する前には、必ず取扱説明書および電子添文をよく読み、内容を理解してからご使用してください。
3. 当製品は医療ガス配管設備（吸引配管）の「アウトレット」に接続し、外科手術や治療などによって生じる血液、痰、生理食塩水などの排液を吸引するものです。それ以外の用途（採血用吸引など）には使用しないでください。
4. 当製品は分解、改造は絶対にしないでください。正常な機能、安全性を保てなくなるおそれがあります。
5. 当製品の消耗品は当社純正部品をご使用ください。
6. 当製品はアウトレットパネルの固定用フックにコントローラーのハンガーを確実に取り付けてください。不完全に取り付けた場合、吸引器本体が落下する危険性があります。
7. 当製品が故障した場合は速やかに使用を中止して、必ず専門の修理業者へご相談ください。
8. 当製品を廃棄する場合は、必ず殺菌、滅菌処理をした後、医療廃棄物処分業者に廃棄を依頼してください。
9. ライナーは、キャニスタに正しくセットしてください。ライナーがないと吸引できません。また正しくセットされていない場合も吸引できません。
10. ライナーは樹脂性ですので、傷をつけないよう注意してください。また摩擦が生じるとライナーにピンホールが生じる場合があります。排液が外に出てしまったり、ライナーが破損するおそれがあります。
11. ライナーに巻かれている帯は必ず外してください。ライナーが正常に膨らみません。
12. ライナーは絶対に再使用しないでください。
13. 排液が外にこぼれないように、使用後はライナーのキャップを確実にはめてください。また、投げたり、落としたりしないでください。ライナーが破裂するおそれがあります。
14. ライナーには凝固剤が入っています。激しく振ったりするとフィルムが破け凝固剤がライナー内に飛散してしまいます。
15. ライナー内の排液は 1000ｍＬを超えないように吸引を停止してください。
16. ライナー内の排液がオーバーフロー防止装置（フィルター）によって吸引が停止し場合、できるだけ早めにライナーを交換してください。オーバーフロー防止装置（フィルター）の成分が流出するおそれがあります。
17. キャニスタの外装部は、洗浄剤または薬剤の種類により樹脂部品が侵食され、亀裂や破損の原因になることがあります。
3ページの「耐薬品性」の表を参考にしてください。
18. アダプターのピンが折れたもの、変形したものは絶対に使用しないこと。他のアウトレットバルブへの誤接続により、キャニスタなどが破裂し、けがの原因となる可能性があります。
19. コントローラーのハンドルのオレンジの突起位置を目盛「10」に合わせ、ベイシェントホースの先端で吸引できることを必ず確認してから使用すること。
20. 吸引器本体のコントローラーを調整しても、配管整備能力以上の吸引圧力にはなりません。
21. 一つの医療ガス配管設備では一つの吸引を行い、二又等の同時使用は絶対にしないでください。
22. 初めて使用するとき、または、しばらく使わなかった機器を再度使うときは、必ず使用前に正常動作することを確認してから使用すること。
23. 吸引を行なわないときは、必ず本製品のコントローラ目盛を OFF の状態にしてください。
24. アウトレットバルブへの接続前に必ずアダプターが吸引用であることを確認すること。吸引用以外のアダプターを使用すると他のアウトレットバルブにつながり、キャニスタなどが破裂し、怪我の原因となります。
25. コントローラーがオフになっている状態で配管コネクタへ接続してください。
26. 吸引直後は内部が陰圧のためキャニスタが開かないことが有ります。キャニスタが開かないときはコントローラ目盛が OFF になっている事を確認し、しばらく時間を置いてから明けてください。
27. コントローラーは洗浄不可能です。それ以外は洗浄後水分を良く切り、よく乾燥させた後、組立ててください。
28. 落下・衝撃が加わった場合、本体の外観および動作に異常が見られない場合でも直ちにご使用を中止し、弊社担当者までご連絡ください。

製品の概要／各部の名称



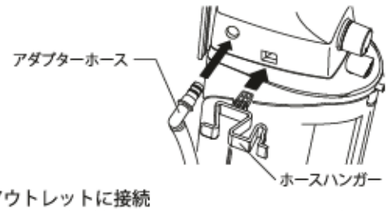
①コントローラー（吸引圧力の調整）
②調整ハンドル（吸引圧力の設定）
③SLIDEボタン（コントローラー着脱）
④OPENボタン（キャニスタの開口）
⑤アダプターホース
⑥アダプター
⑦ホース差し
⑧ハンガー
⑨ベイシェントホース
⑩キャニスタホルダー
⑪キャニスタ
⑫ホースハンガー
⑬キャニスタパッキン
⑭調整ハンドルカバー
⑮シールA
⑯ライナー
⑰VACプロテクター O

使用方法／使用前の準備・手順

①付属のホースハンガーをコントローラーに取り付けてください。
左右どちら側にも取り付けできます。ご使用の環境に合わせ取り付けてください。

> ⚠ 注意　ホースハンガーの取り付けが確実であることを確認してください。取り付けが不完全の場合、ホースハンガーの落下など重大な事故に繋がる可能性があります。

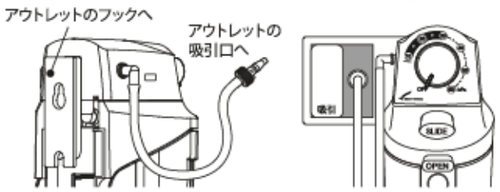
②アダプターホースをコントローラーに取り付けてください。



③アウトレットに接続
アウトレットパネルにコントローラーのハンガーを取り付けます。

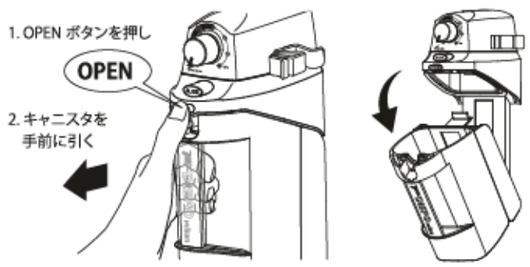
> ⚠ 注意　フックへの取り付けが確実であることを確認してください。スライドレールの場合も同様、確実にセットしていることを確認してください。取り付けが不完全な場合、吸引器の落下など重大な事故に繋がる可能性があります。

④アダプターホースをアウトレットの吸引口に差し込みます。



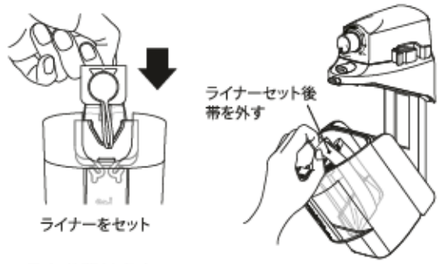
> ⚠ 注意　コントローラーの目盛りが OFF になっている状態で差し込んでください。アウトレットバルブの形式がアダプターホースの形式と一致しているか確認してください。

⑤OPENボタンを押して、キャニスタ手前に引くと開きます。



⑥ライナーをキャニスタにセットします。

> ⚠ 注意　ライナーセット後、ライナーに巻かれている帯は必ず外してください。

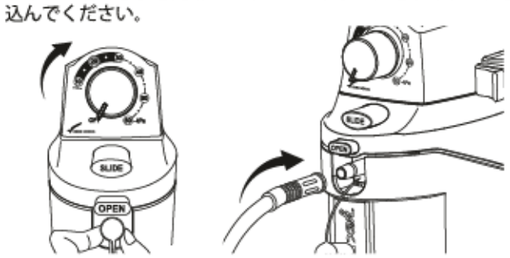


⑦キャニスタを閉じます。

> ⚠ 注意　「カチッ」というまで確実に閉めてください。

⑧ライナーのキャップを外し、コントローラの圧力調整ハンドルを回して、必要とする圧力に設定してください。

⑨ライナーを膨らませた後、ベイシェントホースをライナーに差し込んでください。



> ⚠ 注意　ライナーの膨らみが十分でないときは、コントローラーの調整圧力を上げてください。ライナーが十分に膨らんだら、設定圧力を戻してください。コントローラーの圧力設定は、常に右回りで設定してください。

⑩ベイシェントホースの先端を親指の腹にあてます。吸引を確認できれば、吸引を開始しできます。

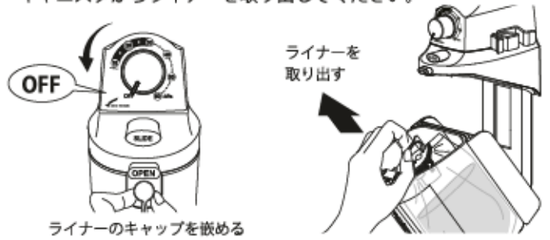
> ⚠ 注意　ライナー内の排液は 1000mL を超えないよう吸引を停止してください。満杯まで吸引すると、キャニスタから取り出しにくくなります。さらに医療ガス配管設備およびアウレットバルブが排液により汚染されることがあります。

> ⚠ 注意　ライナー内の排液が「FULL」になるとオーバーフロー防止装置（フィルター）が働きます。吸引が自動で停止したら吸引口から排液が漏れ出るおそれがあります。またその場合、長時間放置しないでください。

吸引終了・廃棄の手順

①ベイシェントホースを外し、キャップをライナーの口へ嵌めてください。確実にキャップをした後、コントローラーの調整ハンドルをOFFにしてください。

②OPENボタンを押すとキャニスタが開きます。
キャニスタからライナーを取り出してください。



> ⚠ 注意　コントローラーの調整ハンドルを左へ回すと音が鳴ることが有ります。これは異常ではなく機器内の吸引圧力が排出される音です。

> ⚠ 注意　ライナーが取り出しにくいときは無理にライナーを引っ張らないでください。吸引器の落下やライナーが破け中の排液が飛散し、汚染するおそれがあります。

ライナーの廃棄

院内の規定に従って、所定の処理場所へ廃棄してください。

消耗品の廃棄

使用済み吸引器、吸引に使用した部品を廃棄する場合は、適合する法規に従って処理してください。

洗浄および消毒方法

> ⚠ 注意　洗浄および消毒方法、または薬剤の種類によりプラスチック製品部が侵され、亀裂または破損の原因となることがあります。

①薬剤の取扱いについては、薬剤に付属されている「取扱説明書」をよくお読みください。

②当製品の使用後は必ず洗浄および消毒を実施してください。

③当製品を洗浄または消毒する際の薬剤は、下表の「耐薬品性」を参考に選定してください。〇印の薬剤でも使用方法によりプラスチック製品部が侵され、亀裂が発生することがあります。

【耐薬品性】　〇：使用可　×：使用不可

一　般　名	商　品　名	可否
グルコン酸 クロルヘキシジン	ヒビテン・グルコネート　★	〇
	ヒビテン　★	〇
	ヒビスクラブ　★	〇
	マスキン液　★	〇
塩化ベンザルコニウム	オスバン、ヂアミトール	〇
グルタラール	ステリハイド、サイデックス	〇
クレゾール		×
塩酸アルキルジ アミノエチルグリシン	テゴ５１	×
	アノン３００	×
アルコール	メタノール、エタノール	×
ヨウ素及びヨウ素化合物	イソジン	〇
塩化ベンゼトニウム	ハイアミン	〇
次亜塩素酸ナトリウム	ハイター	×
	ピューラックス、ミルトン、テキサント	×
植物系油	サラダ油、オリーブ油	×
鉱物系油		×

(注)★：但し、アルコールによる稀釈は不可

コントローラーの洗浄

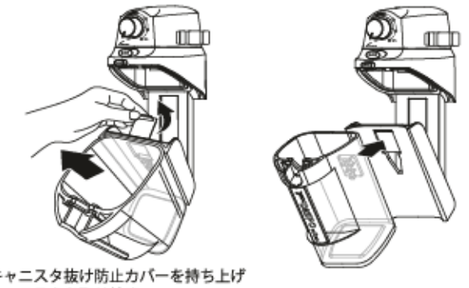
調整ハンドルのカバーは取り外せます。洗浄および消毒後は元に戻してください。それ以外はの箇所は洗浄消毒を行なわないでください。



> ⚠ 注意　コントローラーは洗浄消毒をしないでください。
> 汚れた場合は柔らかい布で拭き取る程度にしてください。
> 樹脂や金属部品が劣化、腐食するおそれがあります。

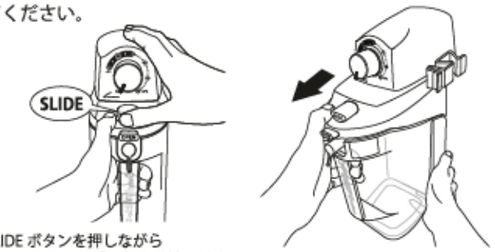
キャニスタの洗浄

キャニスタをキャニスタホルダーから取り外して洗浄または消毒を行なってください。洗浄および消毒後はもとに戻してください。

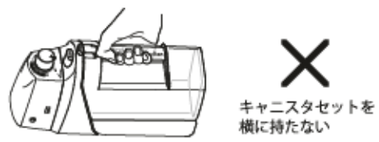


キャニスタとコントローラーの取り外し

SLIDEボタンを押してコントローラーとキャニスタホルダー部を外してください。



> ⚠ 注意　キャニスタを開けたまま操作をしないでください。
> キャニスタセットを横にして片手で持たないでください。
> キャニスタが外れ、本体が落下、破損するおそれがあります。



キャニスタパッキンの交換

> ⚠ 注意　キャニスタパッキンを分解しないでください。

キャニスタをキャニスタホルダーから取り外します。
キャニスタパッキンは爪を指ではさんで持ち上げます。
挿入時は図のように表裏を確認して溝にはめ込みます。

